

僕らはまだ、夢の途中

17歳新聞

2018
3月
[第21号]

編集新聞局員

責任者 編集長 木村 伊吹
顧問教諭 代表 坂本 悠
編集者 加藤 樹香 中保 江梨
取材協力
よしもとクリエイティブ・エージェンシー

プロにおハナシ聞いちゃいます!
おしえて人

お笑い芸人

ウーマンラッシュアワーさん

2008年に結成。2013年の「THE MANZAI」で優勝。2人は2016年に村本さんの出身地の福井県大飯郡あおい町から観光PR大使に任命され、幅広く活動している。

お笑い芸人

スキンヘッドカメラさん

2014年に結成。コンビ名はタカアンドトシのタカさんが名付けた。2人はともに道産子で、道内を中心にテレビやラジオでも活躍している。



▲左からスキンヘッドカメラの岡本さん、シモさん、ウーマンラッシュアワーの村本大輔さん、中川パラダイスさん。

今年度も大谷生の活躍が目立った1年でした。クラブや芸術活動では全道大会はもちろん、全国大会にも出場しました。進路でも輝かしい結果を収めた年になりました。年度の最後になりましたが、学園祭アストと卒業生取材した「おしえてシゴト人」と連載の「フインタビュ」「せんせいずかん」、2018年度入試の合格実績を17歳新聞で紹介いたします。

お笑いのお仕事の魅力は何ですか？

シモさん「結果が笑い声となってすぐに出るところだと思います。すぐわかりやすいです。あとは色々な場所でお仕事できること、色々な人と出会えることが魅力です。」
岡本さん「自分の頭の中で作った考えたものが人の心を動かすことです。」
村本さん「このスペースに書ききれないくらいあります。」

中川さん「顔が少し知られると居酒屋とかにいったら、サービスしてもらえるときもある。」

相方さん「どのような存在ですか？」
シモさん「まっすぐにお笑いのことを考える人です。言動や思考がおかしいので見ていて飽きないです。兄弟のような存在かもしれません。」
岡本さん「もう少し太って、もう少し髪の毛を増やしてほしい。」
村本さん「過去10人の相方と解散してきた、唯一、解散せずに続けてくれるのがいい奴。」

中川さん「嫌な奴だね(笑)」

高校生にメッセージをお願いします！

シモさん「好きなことや、やりたいことを見つけて、色々なことに興味を持ってチャレンジしてみたいです。もう好きなことを見つけた人は、もっとそれに深く関わってみると良いですね。」
岡本さん「僕は今、本当に学生時代に戻りたいので、皆さんがうらやましいです。」
村本さん「学生時代は鳥カゴ。あと数年で必ず外の世界に飛び立つ。行きたい場所に行き、やりたい仕事につくためには、今のうちに勉強して翼を大きくしないと。社会は弱肉強食のサバイバル。」

中川さん「何も考えずに遊べ！」

大変忙しい中、お応えいただきありがとうございます。4月21日にはBFHホールにて、『ウーマンラッシュアワー村本の大演説 in 札幌』が開催されます。

夢が叶った 母校のライブ!!



シンガーソングライター 山本紗綺さん

音楽科に在籍し、学園祭のステージパフォーマンスでは美しい歌声で注目を集めた。現在は全国ライブのほかにも、白い恋人パークからくり時計塔の歌とナレーションを担当するなど、幅広く活動している。2016年には札幌観光大使に任命される。

高校生時代の思い出を教えてください。

山本さん「不真面目な生徒でした(笑)。でも、花まつりや報恩講などの大谷ならではの行事は結構好きで、誰よりも積極的に参加したので凄く印象深いです。」
どのようなイメージで曲を作っているのですか？
山本さん「最初に『こういう曲を作りたいな』というイメージします。私は季節や風景から入ることが多いかな。あと、友達から話を聞いたりして作ることもあります。」

メンバーとして、山本さんはどんな存在ですか？

相澤さん「とても明るく、ワンマンライブでも緊張でダメになったりしないし、本当に太陽のような存在です。」
藤田さん「たまに日差しが強いけど。(一同爆笑)」
山本さん「どうして、メンバーはどんな存在ですか？」
山本さん「私以上に私のことを考えてくれて、言葉で表すことができないほど大切な存在です。」

今の目標は？

山本さん「ライブに来てくれる人数を増やしていきたいです。地方に行くなど規模を広げたいな。」
大谷の後輩に向けてメッセージをお願いします！
山本さん「小さな積み重ねが自分の大きな夢に繋がっているから、一歩一歩、階段を踏みしめながら夢に向かって歩いて行ってください。」

「ずーっと夢見ていた母校でのライブ。夢が叶った瞬間を噛み締めながら、楽しく歌わせていただきました！」

た。こちらこそありがとうございます。

全国大会 出場クラブ

高校総体や総文祭、選手権大会など、今年度全国大会に出場したクラブを紹介いたします。連続出場しているクラブも多く、全国入賞もしています。
【運動部】(6クラブ)卓球、水泳、陸上競技、女子バレーボール、フencing、体操
【文化部】(4クラブ)美術、弁論、競技かるた、ロボット
美術部は秋の全道研究大会で1名が全国推薦作品に選ばれ、平成30年度の総文祭(長野大会)に出場します。
次年度もみなさん、頑張ってください！

がんばる部員に聞いてみよう! フインタビュ



中島 涼 水泳部3年生
インターハイ全国大会で400m自由形第2位。全国でも注目される若きアスリートのひとり。卒業後は明治大学に進学する。

水泳を始めたきっかけ

「気づいたらもう泳いでました。1歳のとき、病気がかりやすかつたため、健康な体づくりで両親が水泳をさせたことがきっかけだ。」

実践力と観察力

練習での工夫は、常に隣に全国のライバルがいると思うこと。上達のためには、速い選手の真似や動画を見たりする。練習で実践し、いいと思ったことをやる。「観察することが大事」と向上心を忘れない。

応援の子カラ

応援が支えになっている。「以前は『すごい』としか言われなかったが、最近は結果も見られる人が増えていると、注目されることを手カフにする。「僕のファンは…：だいたいお母様達ですね。同学年には手ないけど、お母様達にはすごい…：モチ」と、トークも上手だ。

大きな目標

将来の目標は「オリンピックで金メダル。中島くんは周りから「シルバークレクター」と言われ、全国の大きな大会で勝てないことが悔しい。「東京オリンピックもそうだけど、とにかく金メダルが欲しい」と目標は明確である。

21 せんせいずかん

チレキコウミン科イログロ類
フナキ ユウイチ

- 生息地
ローソン
- 類似注意
ドーベルマン
- 元気の源
生徒の成長
- 座右の銘
今日の不可能は明日の可能になる



学校トピックス

合格・就職おめでとうございます！2018年度入試の合格実績(2018年3月18日現在判明分、丸数字は過年度卒)

国公立大学 25名	私立大学 283名	短期大学 25名	専門学校 47名(医療系 15名)	就職 15名(採用試験合格含む)	留学 2名
北海道大学 6名③	札幌医科大学 1名	北海道教育大学 8名①	名寄市立大学 2名①	公立はこだて未来大学 1名	
釧路公立大学 1名	京都大学 1名①	東北大学 1名①	九州大学 1名	神戸大学 1名	福島大学 1名
早稲田大学 4名③	上智大学 2名①	桐朋学園大学 1名	武蔵野音楽大学 1名	多摩美術大学 1名①	立教大学 3名①
明治大学 3名	中央大学 3名	青山学院大学 1名①	学習院大学 1名	愛知医科大学 1名①	
札幌大谷大学 34名	藤女子大学 13名	北海学園大学 25名⑤	天使大学 2名	東京農業大学(オホツク) 1名	ほか多数